

# NEWS

吉村敏男県議会活動報告

Vol.44

風を通そう!

吉  
村  
敏  
男  
議  
員

福岡県議会議員  
【飯塚市・嘉穂郡(桂川町)選挙区】

よしむらとしお



△国土交通省、毛利信二事務次官に八木山バイパスの現状を詳しく説明(7月20日 国土交通省)

## 八木山バイパス4車線化、 国土交通省に要望

八木山バイパスは、平成26年10月1日の無料化以降、交通量が約2万6千台／日(無料化前の約2倍)に大幅に増加し、交通事故も無料化後の1年間に64件が発生し、無料化前の約2倍と急増しています。また、車同士の衝突などによる死亡事故も、無料化後2年間で3件発生しています。この他、故障車による渋滞があり、年間平均で5日に1度の割合で事故や故障による渋滞が発生し、九州内の片側1車線の道路では、事故や故障が原因によるNo.1の渋滞発生道路となっています。

のことから、国土交通省において、事故等発生時の渋滞に対応した短期対策として、城戸IC、筑穂IC、九郎原トンネル終点側の3ヶ所に転回場の設置が計画され、平成28年度に完成。平成29年4月1日から①城戸IC②筑穂IC③九郎原トンネル終点側の3ヶ所で供用が開始されています。

昨年12月20日に発足し、私が会長を務める福岡県議会八木山バイパス4車線化整備促進議員連盟は、今年1月の北九州国道事務所及び国土交通省(武藤浩事務次官他)に対する陳情に続き、6月26日に北九州国道事務所、7月20日には国土交通省(毛利信二新事務次官)に対する陳情を行い、八木山バイパス4車線化の早期着工を強く働きかけました。

## 9月定例県議会終了、補正予算約688億円

9月11日から10月13日まで33日間の日程で開催された9月定例県議会は、一般会計補正予算など21件と平成28年度決算関係20件、合計41議案を原案通り承認し可決しました。このうち、わが県としては戦後最大となる1,941億円の被害を出した7月5日の九州北部豪雨関連の復旧・復興対策として約643億円が計上されました。



# 飯塚市内全小中学校に電子黒板90台を配備 (昨年度63台、今年度27台)

我が会派は、これまでICT教育を推進することによって、授業の工夫改善が進み、先生たちが子どもと向き合う時間が確保され、結果として学力向上につながるとの観点から電子黒板やプロジェクターの配備などICT教育の環境整備を県教委に対し求めてきました。

とりわけ電子黒板は授業中に、教員が子ども達に正対する時間が大幅に増え、そのことで子ども達の反応や気づきを、より的確に把握することが出来たり、図形や地形など視覚に訴えながら教えることが出来て、使い方次第で、授業の工夫・改善が進むなど、大きな教育効果が期待されます。平成28年度からは我が会派の主張を取り入れ県内の政令市を除く全市町村の小中学校(679校)に3ヶ年計画で各1台の電子黒板を整備するための予算7,200万円が計上されています。し

かし、市町村教委によっては、ICT教育にまったく関心が無い所もあることから、飯塚市が整備する平成28年度分63台、今年度分27台の合計90台について、この補助金が活用されています。飯塚市内32の小中学校にはこれまで、4校に4台の電子黒板が配備されていますが、このことにより、飯塚市はICT教育推進の環境が大幅に整うことになります。



△ 飯塚市立庄内中学校

## 全県立中学・高校などにも電子黒板整備

また、県内には、全日制高校92校、単位制高校2校、県立中学4校、県立特別支援学校など合計119校があります。これらの県立各校に電子黒板を平成28年度から1年1台、3ヵ年で3台ずつ整備するための予算が昨年度から来年度まで各3,500万円が計上されています。現在ICT教育の研究事業の指定を受けている本

県の県立学校でも、教育効果が高いとの実証結果が出ており、わが会派の提言を実行している県教委の姿勢を高く評価します。

今回整備される電子黒板は7インチの大型ディスプレーを備え、デジタル教科書とも連動する本格的なものです。

## タイ王国総領事館福岡開設、大きく前進

タイ国政府の公式機関として1990年代初めに本県に設置された二ヶ所の事務所が2016年1月のタイ国政府観光庁福岡事務所の閉鎖に続いて、タイ国政府貿易センター福岡事務所が3月に閉鎖予定となったことから、わが会派は、同年2月の定例県議会の代表質問に於いて、「この際、両事務所の再設置ではなく、総領事館の開設を目指すべき」として知事の考えを質し、本県にタイ国の総領事館の開設を実現する取り組みが動き出すことになりました。現在、タイ王国は東京に大使館、大阪に総領事館があるので、開設が実現すると三番目となります。本県には、1952年に開設されたアメリカ領事館を始め、韓国(1966年開設)、中国(1985年開設)、オーストラリア(1992年開設)、ベトナム(2009年開設)の総領事館がありますが、総領事館開設の効果を、2009年4月22日に開設されたベトナムとの関係で見ると、

### (3)留学生の増加(54.61倍)

2008年 71人 → 2016年 3,877人

※総領事館の支援:ベトナムでの留学説明会開催に当たっての情報提供、助言

### (4)貿易額の増加

輸入額の増加(2.04倍)

2008年 466億1,999万円 → 2016年 951億3,519万円

輸出額の増加(4.00倍)

2008年 274億9,330万円 → 2016年 1,099億8,487万円

### (5)ベトナムへの進出企業の増加(2.22倍)

2008年 9社 → 2016年 20社

※総領事館の支援:ベトナム政府機関、経済団体等の本県訪問にかかる調整

ベトナムへ訪問する行政、経済団体等への助言、情報提供

### (6)大学等友好提携の増加(校数6倍、件数5.4倍)

2008年 2校、5件 → 2016年 12校、27件

※総領事館の支援:ベトナムの大学に関する情報提供、友好提携に関する助言

### (7)県内高校生のベトナムへの修学旅行実施

2008年 0校 → 2016年 7校、1,646人

### 総領事館設置後の状況(福岡県との関係)

#### (1)ベトナムからの入国者数の増加(9.23倍)

2008年 1,734人 → 2016年 16,002人

#### (2)在福岡ベトナム人の増加(13.45倍)

2008年 600人 → 2016年 8,070人

以上のように、わずか8年間で本県とベトナムとの関係が拡大強化されてきたことがわかります。

しかしながら、総領事館の設置に関する事項は、国対国の協議事項であることから、進展が見られません

# 教員の正職員比率を平成35年までに7年間で96.4%まで改善(全国ワースト2位から上位7番目に改善)

本県の教育委員会の教職員は、平成7年度には3万5,846人だったものが、平成27年度には3万790人と、20年間で5,056人、14.1%も削減されました。その結果、本県の小中学校では教員定数に満たない状態が生じ、平成28年度は学級編成基準日である4月1日現在、県下の小中学校で教師(講師)が補充できていない学校は、小学校で59校81人、中学校で10校12人あり、学級運営や授業に支障が出ています。また、全小中学校のうち、非正規雇用の講師が担任をしている学級が平成28年5月1日現在、929学級と全学級の14.7%を占めるまでになっています。

本来、講師は、正職員の産前・産後休暇、休職等により補充の教員等が必要になったときの一時的な任用であるはずですが、本県においては講師の任用が半ば常態化しています。実際に、本県の公立小中学校における定数欠員補充のための常勤講師の数は、平成22年度には2,086人でしたが、平成27年度には2,740人とこの5年間で654人増加しています。

このような講師増加の原因は、本県の正規教員の雇用不足にあり、わが会派は平成27年9月議会において、本県における公立小中学校の教員定数に占める正規教員の割合が87.6%と、沖縄県に次いでその割合が低く、全国ワースト2位であることを指摘し、正規教

員の計画的増員が必要であると質しました。その結果、平成28年度の採用試験(平成29年度採用者)では平成27年度より109人多い500人が採用されることになりました。しかし、それでも全国ワースト2位という現実は変わらず、平成28年度6月議会でも、代表質問において、引き続き正規職員採用枠の拡大と、具体的な計画の提示を求め、最終的に、平成28年度現在86.3%の正規職員比率を8年後(29年度の採用枠拡大から7年後)の平成35年度までに96.2%まで改善することを明らかにさせることができました。しかしながら、この目標はあくまで、わが会派と県教委の信頼関係に基づく計画目標とされ、また、平成31年度からの教職員の定年延長も予定されていることから、今般9月議会の文教常任委員会において、正式に下記のとおり、平成33年度までの正職員化計画を明らかにさせると同時に、最終的には①平成35年度までに正職員の比率を96.4%とする②定年制の導入の有無に関わらず正職員の比率は96.4%とする。との答弁を引き出すことができました。(これが実現すると、正規職員比率は全国第7位まで改善されることになります)今後は、今回示された採用計画が違えられぬよう、年度毎にしっかりチェックしていきます。

## ■公立小・中学校の教員定数に占める正規教員の割合の推移と見込み

小・中学校	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
教員総数(A)	13,441	13,468	13,515	13,571	13,598	13,751	13,884	14,007	14,131	14,255
正規教員(B)	11,834	11,760	11,683	11,683	11,733	11,875	12,277	12,593	12,945 (13,229)	13,285 (13,564)
うち新規採用	438	469	485	574	595	720	940	950	950	950
うち再任用	6	13	43	65	168	328	502	603	699 (535)	759 (602)
正規教員の割合(B)/(A)	88.0%	87.3%	86.4%	86.1%	86.3%	86.4%	88.4%	89.9%	91.6% (93.6%)	93.2% (95.2%)

※H32年度以降の( )は、H31年度から退職年齢が延長された場合の試算(2年毎に延長)

でしたが、私が2009年5月から県議会タイ友好議員連盟の会長を努めてきた人脈から、バンコク都議会の元議長複数や軍政による任命制の現都議会副議長のルートから展望が開け、今年2月22日にはドーン外務大臣、5月29日と30日には現在のタイ国軍政の中で政権を動かしているソムキット副首相とタナサック副首相に面談し、総領事館設置を強く要望しました。

そして、さる9月12日、タイ王国から要請を受けて県内企業39社(全国で約500社参加)と共に参加した、タイ東部経済回廊計画(EEC)経済ミッションの折の会談において、ソムキット副首相からは「なるべく早く実現させたい。今朝、外務副大臣に、手続きを早く進めてくれと伝えた」、ドーン外務大臣からは「福岡に総



△ タイ王国ドーン外務大臣と会見(2月22日、タイ王国外務省)

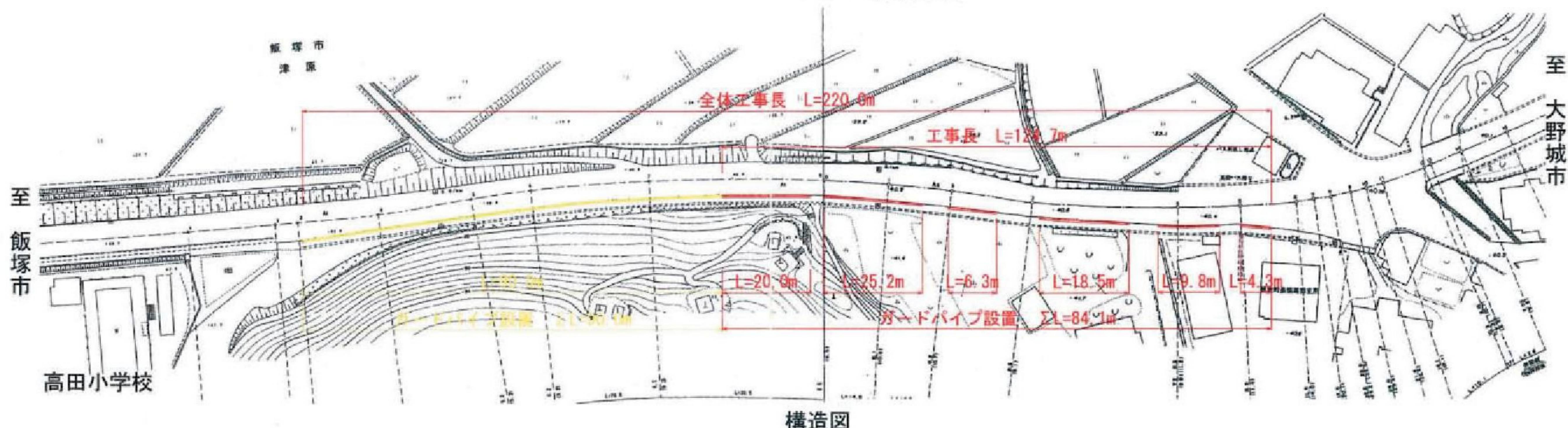
領事館を作ることを進めていきたい」と、極めて前向きの発言を得ることができ、総領事館の福岡県への設置が大きく前進することになりました。今後共、県議会と行政が両輪となって全力をあげ、タイ王国政府に対して、総領事館設置を働きかけていきます。

# 高田口交差点から高田小学校までの ガードレールが設置されます

県道飯塚大野城線の高田口交差点から高田小学校までの歩道約220mは、特に高田口交差点の信号が青の時、九郎原方面から安恒方面に向かう車が猛スピードで通過するため、保護者や学校関係者から事故の危険が指摘されていましたが、高田小学校運営協議会の強い要望を受け、今般ガードレールの設置が実現する

ことになりました。なお、工事は、二年間で実施することとし、今年度は高田口交差点側から124.7mを設置します。工事は9月に着工し、10月中旬に完了しました。このニュースが届く頃には半分が終了し、残りは来年度着工の予定です。

平面図 S=1 : 500



構造図

## PHOTO 吉村敏男 GRAFFITI



△ 7月5日の九州北部豪雨で大きな被害を受けた東峰村と朝倉市を会派で視察(7月18日東峰村濱谷村長と九地整の現地責任者から被害状況の説明を受ける)



△ タイ王国ソムキット副首相に総領事館設置を申し入れ(5月29日、首相府)



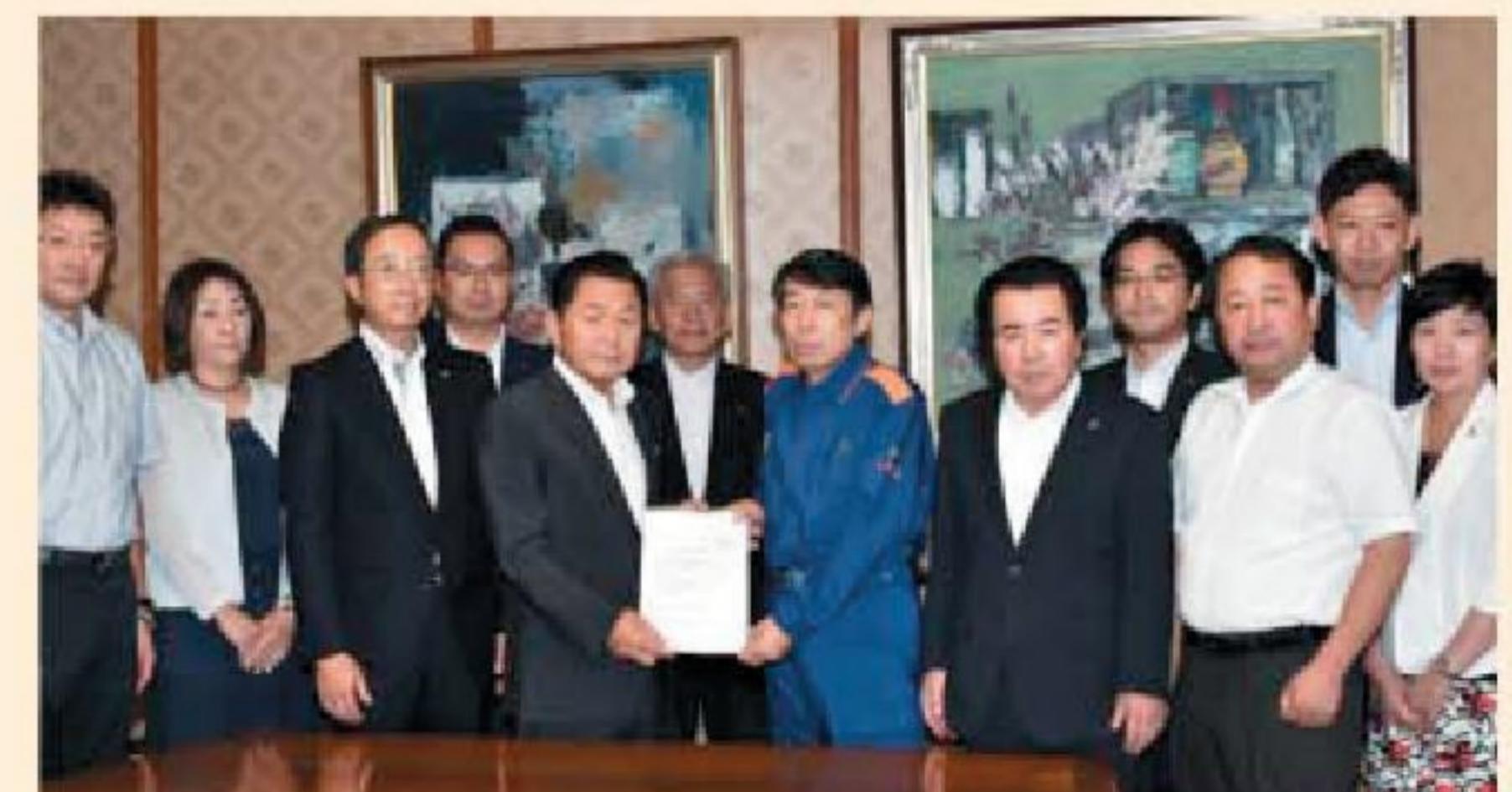
△ タイ王国タナサック副首相に総領事館設置を申し入れ(5月30日、首相府)



△ 交流事業でタイ国バンコク都を訪問する本県高校生の表敬を受ける(7月28日、議会棟)



△ ハワイ州教育省ジュディ・ナガサコ氏(左から3番目)とハワイ州立ジェームス・キャンベル高等学校 ジョン・ヘンリー・リー校長(左から2番目)の訪問を受け、私が2007年5月~2009年5月の県議会日米議連会長当時実現した、毎年9月~10月のハワイ沖での本県立水産高校生の実習航海の帰途、ハワイ州立高校の教師と生徒が水産練習船に同乗する交流事業(2010年~2015年、当時の州立ルーズベルト高校の校長の提案により実施)が、2016年~17年の2年間中断している事態を踏まえ、その事業再開について協議(10月6日、教育長室)



△ 会派として九州北部豪雨災害対策本部をただちに立ち上げ、要望書を服部副知事に提出(7月6日、庁議室)

吉村敏男 事務所



Facebook始めました。「吉村敏男」で検索してください。

お願い

個人情報保護法が施行され、個人情報の管理が厳しく制限されるようになりました。その結果、事務所として冠婚葬祭における祝電、弔電などが把握できず、大変失礼をいたしております。友人、知人、親族等の冠婚葬祭等がございましたら、ぜひ、御一報くださいますようお願いいたします。

〒820-0082 飯塚市若菜52-1  
Tel.0948(23)1210 Fax.0948(25)6071